

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	21204
----------	-------

1. 開設大学	広島大学 瀬戸内 CN 国際共同研究センター	開催方法 (キャンパス・施設)	■対面 (サテライトキャンパスひろしま) □オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	大気中の CO2 は増えているのか? —最先端の観測からわかる地球上の炭素循環—					
	学問分野	番号	43	名称	環境	
3. 担当教員	瀬戸内 CN 国際共同研究センター 町田敏暢					
4. 開講期間 (曜日)	令和 8 年 7 月 25 日 (土)					
開講時間	13 時 00 分 ~ 17 時 30 分 (60 分 × 4 回)					
個別開講日	1 回目 7/25	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
5. 募集定員	50 人 (受入学年: 定員超過の場合は高校 3 年生を優先)					
6. 科目内容・授業計画	<p>地球温暖化の原因は大気中の CO2 など温室効果ガス濃度の増加とされていますが、実際の濃度変化はいったいどうなっているのでしょうか。この講座では最先端の観測現場の実態を紹介しながら、地球温暖化の基礎から地球上の炭素循環までを学びます。</p> <p>1 限目: 地球温暖化のしくみ 地球が太陽からのエネルギーを受け取って放出するしくみと温室効果ガスの放射特性を通して地球温暖化のメカニズムを理解し、大気成分の変化が環境に及ぼす影響について学びます。</p> <p>2 限目: 温室効果ガスの時間変動 大気中の温室効果ガスの季節変化、経年変化、さらには過去数十万年にわたる長期変化の歴史を紐解くことによって、濃度変化を引き起こしている個々のメカニズムを理解します。</p> <p>3 限目: 温室効果ガスの空間分布 温室効果ガスの大気中での分布を知ることによって、それぞれのガスの放出源や吸収源を理解します。</p> <p>4 限目: 地球上の炭素循環 最先端の観測結果を交えて大気の鉛直輸送や水平輸送を理解し、地球上での温室効果ガスの循環をイメージできるようになることがゴールです。</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等)					
9. 開講条件 ※1 あり・ない	① 最少開講人数 (人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日: 6 月末まで					
その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など					
開設大学への交通手段	開催場所: サテライトキャンパスひろしま (広島県民文化センター5F) (https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/satellite/accessmap20240311.html)					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。